

【研究課題名】

健康政策を効果最大化と格差縮小の両軸で評価するためのツール開発：肺がんを事例に

【臨床研究実施計画番号】

19H01076 基盤研究 A

1. 研究の対象

対象となる方：肺がんで受診された方

調査対象期間：2008年～2021年までに診断・治療のために初診された方

2. 研究の概要・特色

目的：肺がん治療の格差を検討するために、診断・治療の内容を期間や場所で格差がないか検討することを目的とします。

研究期間：2024年3月31日まで

肺がんの死亡率減少および社会経済状況における集団間の死亡率格差を縮小することを目的とし、肺がんの予防・診断・治療の各過程において、たばこ対策や検診の導入、新規治療薬の普及などの効果を国民全体でみた場合に、「死亡率を減少させる効果が最大」となり「社会経済状況の異なる集団間の死亡率の格差が縮小」という二つの軸で評価するマイクロシミュレーション（Microsimulation: MS）モデルを開発します。

がん登録やDPCデータといったビッグデータを匿名化して解析する多施設共同研究です。

3. 研究責任医師

診療科：がん予防情報相談部

氏名：藤田 伸